

代表質問

9月定例会では、内田博長議員（鳥取県議会自由民主党）、興治英夫議員（会派「絆」）の2名の議員が県行財政上の諸問題について、会派を代表して質問を行いました。

鳥取県議会自由民主党



内田 博長 議員
選挙区 日野郡

総合事務所の再編

問 総合事務所の見直しについて問う。市町村が県に望む機能を残すことが必要ではないか。

答 再編の目的は、地方分権に備え、行政機能の向上、効率的で強力な行政組織を作る必要がある。

再編は、東部、中部、西部の3圏域への集約が基本であるが、市町村合併が進み、行政区域が合わなくなっていることもある。

東部は東部で広域的に考える必要がある。本庁に東部振興を管轄するポストを置き、その傘下に中

山間地域振興を担う組織を設けることを考えている。

西部地域は、西部全体が一つの圏域として固まってきているが、日野郡なりのまとまりもあり、「日野振興センター」（仮称）の設置や県職員の町役場への配置などで中山間振興に込めたい。

救急医療体制の整備

問 近隣県とドクターヘリの協力関係の進行状況はどうなっているか。また、鳥取大学医学部病院にヘリポートを整備し、ドクターヘリを配備してはどうか。

答 鳥根県のドクターヘリを活用できる可能性は確実に広がっている。

鳥取大学のヘリポート整備は、「平成25年度にヘリポート設置を計画する」という県と大学との協議を行っている。また大学側は西部広域消防と協議しながらドクターカーを導入することとし、25年3月から試験供用する予定。

ヘリポート整備、ドクターカー設置、隣県との協調などから徐々に体制を整えていきたい。

道路維持工事について

問 日野郡で行っている共同事務事業の中の道路維持工事は路線を拡大、河川維持もこの委託方式が導入できないか。

また、実際の業者への委託のあり方は、地元の実情にふさわしく発注する、5年間程度一括発注するなど一定の工事量を確保し、地域の建設業者存続の下支えをして雇用を守るなど検討してはどうか。

答 日野郡三町とよく協議して拡大を図っていききたい。河川については今後の議論にしたい。

地域の建設業を下支えしていくという政策は、従来の総合評価に加え、従来の道路維持、今後の河川維持、簡単な維持修繕工事は地域密着型総合評価で行うほうが効率的ということで、地域を熟知した業者が受注できる方式を導入していく。

会派「絆」



興治 英夫 議員
選挙区 倉吉市

公共事業の回復を

問 昨年度決算において、一般会計は154億円の黒字、基金残高は450億円となるなど、財政状

況は好転している。県民が少しでも潤いを感じられるよう、公共事業の抑制基調を見直し、来年度の予算編成を行ってはどうか。

答 公共事業は、平成10年度1800億円だったのが、平成23年度は671億円だった。財政環境も若干好転してきているので、県民に還元するため、来年度単県事業だけで、100億円ほど確保するなどの目標を考えてみたい。

山陰新幹線構想

問 国土交通省が来年度予算で、山陰新幹線の構想を含む幹線鉄道路線の、高速化へ向けた調査費を要求している。県としても、同様の検討を始めるべき。合わせて日本海国土軸の形成について、広く国民に問いかけるべき。

答 整備新幹線はすべて事業化に向けて動き出した。次は日本海側をどうしていくかだ。兵庫県などと作っている山陰新幹線建設期成同盟会を、もう一度動かしていく。日本海国土軸については、日本海側の府県の連盟で、推進大会を開くよう提案し、機運を盛り上げる。

学校でのいじめ対策

問 大津市のいじめ問題に対する市教委と学校の対応から、どのような教訓を得、今回の県のいじめ

対策につなげたのか。学校、教育委員会の閉鎖性を克服し、保護者や関係機関にオープンにし、協力を得て解決することが大切だ。

答 いじめはどの学校、どの子にもおこり得ることを前提に、アテンナを高くして把握する。そのために、心理検査、相談メール、24時間相談体制、子どもの悩みサポーターチームの派遣などに取り組む。隠さずに学校の中で事実を出して、保護者の協力を得て解決につなげていきたい。

中部地区への企業誘致

問 中部地区は東部、西部と比べ、人口減少率が高く市町村民所得も一割程度低い。企業誘致件数も少ない。中部への企業誘致を強化するとともに、高速道路や工業団地等のインフラ整備の促進が必要。

答 中部への誘致は、隣接する岡山県の企業、農林水産業と結びついた加工業、地元で集積がある電子デバイス業、リスク分散企業の誘致などの戦略を進める。県と中部広域連合が一緒になって、事態を打開していく。山陰自動車道は来年度、赤碕中山一名和間などが開通する。工業団地整備の支援は、来年度予算で拡充を検討する。

